生活クラブ生協の介護保険事業所

生活リハビリクラブ幸（さいわい）だより

2020.秋号
No.21

生活クラブ

発　　行：生活リハビリクラブ幸運営会議　　発行責任：仁藤名都子／編集責任：内村真由美
問合わせ：川崎市幸区南幸町 2-4-2-101　　TEL.044-556-1122　FAX.044-556-1121

祝・30 周年　記念号

～人がつながる豊かなまちづくりをめざして～

「生活リハビリクラブ幸」は、1990 年 11 月に開所し、今年で 30 周年を迎えることができました。
前身である「生活リハビリクラブ戸手」は、参加型福祉の拠点として高齢者福祉だけでなく、組合員活動や講演会、子育支援の活動など、地域福祉をひろげるために幸区を中心に川崎区・中原区の組合員やワーカーズメンバーと共に活動をすすめてきました。
2015 年 11 月に川崎駅西口近くに事業所を移転し、新たな場所で生活クラブ生協の福祉事業・地域福祉をひろげる活動などアピールし、誰でも集える地域拠点、たすけあいの輪をひろげる活動をすすめています。
移転後の戸手には小規模保育を開設したことで幸区には 2 か所の参加型福祉拠点が誕生しました。
近年、人と人のつながりが希薄になり、相談相手もなく孤立・分断している人が増えてきています。2019 年春に、生活リハビリクラブ幸を運営しているワーカーズ・コレクティブメロディーが、地域の中の必要な場所として多世代が交流し孤立しない豊かなまちづくりをすすめ、地域の人が関われる場所として「多世代の居場所メロディーココ」を開設し、組合員や地域のみなさんと運営しています。
今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大がすすみ、緊急事態宣言も発令され様々なことが自粛になりました。そのため経済格差や社会的孤立など課題が見えてきました。30 周年を契機に、人と人のつながりを強めながら「おたがいさまのたすけあい」を拡げ、 顔の見える関係を今後もつくり、誰もが悩みを気軽に相談でき解決につながる場所として地域の中に必要な拠点となるように、おおぜいの参加ですすめていきましょう。

生活リハビリクラブ幸運営会議　　代表　　仁藤名都子

生活リハビリクラブ幸のあゆみ

生活リハビリクラブ戸手

生活リハビリクラブ幸の前身である生活リハビリクラブ戸手が誕生して、今年で30周年を迎えます。
これを機に、生活リハビリクラブのこれまでの歩みを振り返ります。

生活リハビリクラブ戸手の誕生

1985年、将来の高齢化社会に向けて、生活クラブ組合員が中心となり、最初の「家事・介護ワーカーズ・コレクティブ」が横浜に誕生しました。ワーカーズ・コレクティブ（以下W.Co）では、日常の生活を通して培ってきた技術・文化をもとに、必要な人々に対してたすけあいのサービスを行っています。
働く人の協同組合として、全員が出資・労働・経営し、自らが住む地域の課題を自らが解決する「参加型福祉」をすすめてきました。
こうした活動を技術的に高め、より高度なサービスを行なう試みとしてデイサービスセンター「生活リハビリクラブ」が生まれました。第 1 号は 1987 年の麻生、第 2 号として戸手が誕生したのは、1990 年 11 月のことでした。
デポーが閉所したことを契機に誕生した生活リハビリクラブ戸手ですが、デイサービスをつくることで、誰もが生き活きと暮せる地域コミュニティ創出の一端を担うことができればとの思いがありました。

川崎市委託事業から介護保険事業へ

1996年にはそれまでの実績が認められ、生活協同組合としては初めて川崎市からD型（小規模型）デイサービス事業の委託を受けることができました。業務は、当初の少数のスタッフから1993年に設立したW.Coあやとりが担い、この地域になくてはならないデイサービスに成長してきました。現在では生活クラブだけでも、麻生、戸手に続き葉山、鴨居、茅ヶ崎、橋本の6ヶ所に広がり、生活クラブ運動グループではさらに多くのデイサービスや家事介護のW.Coが地域の福祉を担っています。
2000年4月から介護保険が施行され、ケアプラン作成の居宅介護支援事業も開始しました。2002年4月、W.CoあやとりからW.Coメロディーが業務を引き継ぎ、ヘルパー派遣の訪問介護事業も始めました。
その後、度重なる介護保険の改正に対応し、デイサービスの開所日数の拡大や開所時間の延長に取り組んできました。

戸手から幸へ

そして、施設の老朽化や事業の限界性などの課題を克服するため、2015年11月に戸手より南幸町に移転し、「生活リハビリクラブ幸」として、再出発しました。日々、高齢者介護に携わる中で、老々介護・認知症・8050問題など様々な現場を知り、南幸町に越してからのたった5年の間にも人々の孤立化が進み、人の関係性が希薄になっていく様を見てきました。そこで、W.Coメロディーとして、「おたがいさまのたすけあい」をひろげ、人と人との結びつきを多様に作り出すことを目的に、生活リハビリクラブ幸の向かいに、「多世代の居場所メロディーココ」というコミュニティカフェを2019年4月にオープンし、訪れた人がホッと一息つける居場所となるよう活動しています。生活リハビリクラブを通じた私たちの試みは、措置型で行なわれてきた「公的福祉」から、アマチュアである組合員・市民の福祉活動への参加の道を拓き、「請負型」からおおぜいの「参加型」に転換し、公的福祉への牽制力を高めてきたと自負しています。介護保険が施行されて20年が経過し、財源をはじめとした限界性が明らかになってきました。介護の専門性が高まる一方、介護職の人材不足や高齢化の課題もあり、私たちは大きな岐路に立っています。しかし、誰もが安心して暮していくことができるよう、これからも「非営利・協同」の立場から、様々な関係機関や地域との連携を密にし、原点である「地域のたすけあい」を豊かにしていくための活動をすすめていきます。

川崎大師へお参り

参加型福祉のまちづくりを進めるため
地域の拠点となることを期待します。

生活リハビリクラブ幸　開設 30 周年おめでとうございます。
30 年前、地域のくらしみんなでたすけたい。誰もが住み慣れたまちで、安心して暮らし続けるために、自らが参加し地域の課題を解決する！そんな思いで通所事業からスタートし、訪問介護事業、居宅介護支援事業など次々と地域に必要なものを、その時々のニーズに応えサービスを拡げてこられた実行力と実績に地域の人々への思いの強さを感じました。
さらに、2019 年 4 月に、多世代の居場所としてコミュニティカフェ「メロディーココ」を開設し、人と人のつながりを強め、顔の見える関係をつくり「お互いさまのたすけあい」を広げる地域づくりへのチャレンジを知り感動しました。
少子高齢化社会や経済格差、コミュニティの希薄化、孤独など様々な問題も、人と人がつながり互いに支え合う参加型福祉を進めることで、これまで以上に地域でのたすけあいが拡がると思います。みんなの拠りどころの地域拠点として今後の活躍を期待します。

生活クラブ神奈川　理事長　篠崎みさ子

生活クラブの食材を使った食事

開設 30 周年おめでとうございます。
現在の様に高齢者福祉の課題が常識となる前から、生活者の視点で利用者の、その人なりを大切にした接し方で事業を運営し、参加型福祉を実践してきた 30 年だったと思います。高齢者福祉だけでなく、子育て支援も行ってきました。戸手からスタートし、現在の幸にて、ともに支えあう関係をつくりだす拠点として、まちづくりをすすめて来られたワーカーズの方々、共に活動をしてきたおおぜいの組合員、その拠点となる「生活リハビリクラブ幸」は、私たちの誇りです。
コロナ禍の新たな時代となりますが、だからこそ組合員の大切な財産「生活リハビリクラブ幸」を地域の発信拠点として、より多くの組合員が参画し、互いに人と人が支えあう、多様な関係性を地域でひろげていきたいと思います。これからも共に、地域に強く発信し、連携して参加型福祉のまちづくりをすすめて参りましょう。

かわさき生活クラブ生協　理事長　佐野めぐみ

運動会玉入れ

避難訓練

祝 30 周年メッセージ
各コモンズより

生活リハビリクラブ幸 30 周年おめでとうございます。
5 年前に戸手から移転し、幸でのセレモニーを行ったのが、昨日のことのように感じます。地域での参加型福祉や、多世代の交流の場は、これからの社会になくてはならないものではありますが、新型コロナウィルスの影響で、様々な活動ができないことを残念に思っております。
「三密を避ける」「テレワーク」などがキーワードとなり、生活スタイルが大きく変化する 2020 年ではありますが、「お互い様のたすけあい」はいつの時代でも欠かせないものです。利用される方の目線に立った、感染症対策に尽力されているスタッフの方には、心から敬意を表するとともに、中原コモンズでも参加型福祉を広める活動を共に取り組んできたいと思います。

中原コモンズ　櫻井美緒

組合員との交流会

生活リハビリクラブ幸、開設 30 周年おめでとうございます。
生活クラブは、消費材の共同購入だけでなく、高齢者や子育ての福祉事業、地域を豊かにする拠点づくりをしていること、委員になるまで知りませんでした。生活リハビリクラブ幸の見学をさせていただき、利用者さんが楽しく過ごされている様子を拝見しました。昨年出来たメロディーココは、名前の通り、ココにくれば、だれかがいる。暖かい雰囲気で良さを感じます。
地域でつながる生活クラブの福祉事業、地域を豊かにする拠点があることを、もっと多くの人に知ってもらいたいと思います。

かわさきコモンズ運営委員長　永野絵美

生活リハビリクラブ幸 30 周年おめでとうございます。
私たち、地元の生活クラブ組合員組織である幸コモンズも、30 年の月日を、協力してともに歩んできたのだと思うと感無量です。
生活リハビリクラブ幸がめざす「人と人がつながり、たすけ合う地域」を目指し、幸コモンズは、これからもワーカーズと一緒に活動をすすめていきたいと思います。
今後ともよろしくお願いいたします。

幸コモンズ運営委員長　和田紀子

Go！5 リハビリデー

祝 30 周年メッセージご利用者ご家族より

この度は創立 30 周年おめでとうございます。
30 年の実績とスタッフ皆様の努力のお陰で私達はどれだけ心強く助かっているか痛感しております。
いつも変わらぬご親切と優しい対応をして頂いて、主人も私も安心して一日を過ごせること、スタッフの皆様の笑顔にいつも元気づけられて日々過ごしていること、等々、本当に有難く感謝の気持ちでいっぱいです。
　生活クラブ生協を通して、生活リハビリクラブ幸を紹介していただけた幸運にいつも感謝の毎日です。

石井芳枝さん

三十周年おめでとう
横浜から転居して生活クラブ加入から三十年余り過ぎました。
スタートが同じとは不思議です。
当時は班配達、やがて個配達へと時代は変わりました。加齢と共に大助かりです。
ワーカーズの働きは戸手時代に、松沢さん、齋藤さん、あやとりのメンバーとの出会いなど、すばらしいパワーをいただきました。
そのころ幸区内で市の登録ヘルパーとして在宅介護に携わっておりました。当時のワーカーズの働きと努力が実り、今ある土台を築き上げられた事と思います。昨年七月より主人がお世話になり感謝です。ワーカーズの御働きが守られますよう祈ります。

三浦淑子さん

祝 30 周年メッセージ近隣 W.Co より

開設 30 周年おめでとうございます。
今では多くのデイサービスの車を見かけますが事業を始めたころはデイサービスも少なく支援について苦労された事と思います。
生活リハビリクラブ幸には 100 歳を超す長寿の利用者さんも通われていますがメンバーの明るい笑顔と 1 人ひとりに配慮したサービスが元気の源になっていると思います。今後ともコミュニティ・オプティマムを進め生活リハビリ幸にしか出来ない利用者に寄り添った活動を続けて下さい。

特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブ　ゆいゆい
理事長　石井美夜子

介護等体験できた実習生と利用者さんの合奏

午前午後と毎日体操

設立 30 周年おめでとうございます。
生活クラブ生協の介護保険事業のワーカーズとして、また、川崎市のワーカーズとして様々な会議を通し、生活リハビリクラブ幸（メロディー）の皆さんからいつも良い刺激を頂いています。
その一つとして地域に多世代の居場所を作りたいという皆さんの長年の夢が「メロディーココ」を立ち上げることで実現されました。ワーカーズの底力を見せて頂きました。
参加型福祉の拠点として、これからも神奈川県のワーカーズを牽引していかれますことを確信しております。益々の発展をお祈りいたします。

特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブこもれび
理事長　神谷治子

祝・30 周年に寄せて

前身である「生活リハビリクラブ戸手」の開設当時は幸支部の委員長をしており、何度説明されても「参加型福祉」ってなに？さっぱり理解できず、開設に反対していた私が、まさか、その 12 年後に自らが新たな W.Co を立ち上げて運営する身になるとは夢にも思っていませんでした。

2002 年にメロディーを設立し、運営を引き継ぎ目指してきたことは、地域のニーズを常にキャッチしながら地域にとって必要な事業を拡げ、W.Co らしくメンバー一人ひとりがいきいきと働く現場をつくることです。

そして、生活クラブの組合員と共に「生活リハビリクラブ幸」を拠点として、「お互いさまのたすけあい」を組合員や地域の人々が自分事として捉える活動を多様に展開してきた 18 年でもあります。

30 年前とは社会の状況が大きく変わり、超少子・高齢、格差・貧困が広がり、さらに今年に入り新型コロナウイルスの感染拡大で暮らし方も様変わりしています。

どのような困難があっても、利用者・家族と向き合い寄り添う姿勢と、自らの手でまちをつくる思いは変わることなく、今後もおおぜいの皆さまと手を携えて参加型福祉を推進していきたいと思っています。

特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブメロディー
理事長　木村満里子

ご利用者の方みんなで
季節の壁画をつくります。

生活クラブのチラシをみて働き始めて 3 年半、介護のこと、介護制度のことそして「ワーカーズ・コレクティブ」という働き方など日々学ぶことが多い職場です。介護とは高齢者だけの問題ではなく社会や地域全体での問題なのかと、研修や運営会議、日々の業務の中で気づかされました。人任せではなく、どんな暮らしをしたいのか、豊かな暮らしとは何なのか考えて動けばそれが実現できるのではないかと思うようになりました。

施設長　内村真由美

事業内容

デイサービス（通所介護）事業		介護や支援の必要な高齢者の方に、送迎つきで、昼食・入浴・趣味の活動等を通じて、楽しく過ごしていただきます。（月～土）
居宅介護支援事業		介護保険の申請代行やケアプランの作成、サービスの調整・手配をします。
ホームヘルパー派遣（訪問介護）事業		ホームヘルパーがご自宅を訪問し、食事・排泄などの家事や介護等の日常生活の援助を行います.
川崎市 要介護者ヘルパー派遣事業		介護保険の給付サービスだけでは生活が難しい高齢者のお宅をホームヘルパーが訪問し、家事等の生活援助サービスを行います。 (利用には申請が必要ですので詳しくはお問い合わせください)
W.Co メロディー 独自事業	生活支援サービス事業	手助けを必要とされている方にサービスを提供します。 例えば、お年より・障がいを持つ方・病弱な方のための付き添い、通院介助等。また、保育園の送迎や産前産後のお手伝いの育児支援など。まずはご相談ください。 ＊介護保険など公的サービス以外　＊川崎市産前･産後家庭支援ヘルパー派遣事業 Tel＆fax　044-533-8308 URL http://wco-melody.com/　e-mail　wco-melody@guitar.ocn.ne.jp
	多世代の居場所 メロディーココ	子どもからシニアまで、多世代が集えるコミュニティカフェです。 顔のみえる関係をつくり「おたがいさまのたすけあい」をひろげます。

生活リハビリクラブ幸から地域へ

私は主にメロディーココさんで笑いヨガや、魔法の質問会を開催させていただいているご縁で、メロディーさんに通所している皆さんと、笑いヨガをさせていただいたことがありました。皆さんお元気で、楽しい時間を過ごすことができました。メロディーさんは元気なスタッフさんのもと、明るい雰囲気で笑顔溢れる居場所だと感じております。今後ますますの発展をお祈り申し上げます。

さいわいコモンズ　小川千恵

笑いヨガ

メロディーが直面してきた現場では、様々な問題が起きています。市民同士のつながりが希薄になり、相談相手もなく孤立・分断している人々が増えていることを目の当たりにしてきたことから、設立 15 年を記念して「メロディー15 周年記念プロジェクト」を立ち上げ、「居場所・たまり場」の形成に向けて検討をすすめてきました。人のつながりを強めながら顔の見える関係をつくり相談や「お互いさまのたすけあい」を拡げるために、常設型の居場所・たまり場を創設したいとの考えに至りました。創設にあたっては、メロディーのメンバー、生活クラブの組合員、生活クラブ運動グループ、地域の方たち、区社協、地域包括等を巻き込みながら人のつながりを再構築し、地域のセーフティネットと機能する「多世代の居場所メロディーココ」開設しました。

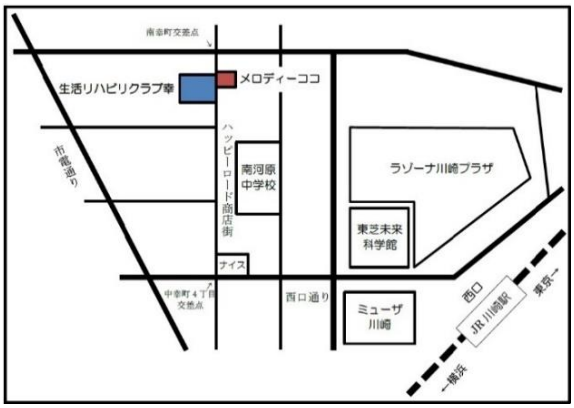
メロディーココ　前田絹子

メロディーココ

ワーカーズ・コレクティブ　メロディーではホームページで様々な情報を発信しています。ぜひアクセスしてみてください。
http://wco-melody.com

編　集　後　記

30 周年のイベントや記念号では、かわさきコモンズの井田さん、幸コモンズの江川さんをはじめ多くの組合員にご協力いただきました。記念の年に一緒に活動できたこと、とてもよかったと思います。（仁藤）



生活リハビリクラブ地図

＊ワーカーズ・コレクティブ(W.Co)とは：地域に暮らす人たちが、生活者の視点から地域に必要な「もの」や「サービス」を市民事業として事業化し、自分たちで出資し経営し労働を担う働き方の組織です。

＊W.Coメロディー：参加型福祉の趣旨に賛同した地域の人々が、自主的にワーカーズ・コレクティブ メロディーを組織し、日常のワークを担っています。

オンライン開催　お申し込み、お問合せはお気軽に！

生活リハビリクラブ 幸（さいわい）

設立30周年記念講演会

いま考える　つながりと豊かさとは？　参加型福祉って？

「生活リハビリクラブ幸」は市民が自らの住む地域の福祉を担う拠点として、1990年に設立され、「参加型福祉」を実践してきました。

新型コロナウイルス感染予防のため、三密回避、リモート化が進む今、全世界中の人があらためて「人のつながり」について気づかされました。

学校、横浜寿町、沖縄、と多様な現場で「人のつながり」を体験された加藤さんが、今思うこととは？

私たちができること、身近な地域、社会、未来の担い手子供たちへつなげていけることとは？

テーマ：　人がつながる　豊かなまち

日時：11/29（日）　10:00～12:00

場所：生活リハビリクラブ幸よりZOOM配信

講師：沖縄大学名誉教授　加藤彰彦さん

1941 年東京出身。横浜国立大学教育学部卒業、小学校教員を経て横浜市民政局寿生活館職員、児童相談所のケースワーカーを務める。1991 年より横浜市立大学教授、2002 年沖縄大学教授、同大学長を歴任。現在は沖縄大学名誉教授。老人クラブ田谷長生会　会長

子どもが安心して育つ社会と時代を作る多様な視点からの＜子ども研究＞がライフワーク

野本三吉のペンネームで「生活と自治」にも連載されていました。

・今回の講演会は「Zoom」機能を使って実施します。

・Zoom を見る環境が無い方などは、2 か所のサテライト会場にて参加が可能です。

・Zoom 参加または、サテライト会場（どちらか1つ）を選んでお申込みください。

①Zoom 参加　　②高津センター会場（宮前区宮崎2－1－1）　③メロディーココ会場　（幸区中幸町 4-21）

・後日、折り返しミーティング ID およびパスワードをご案内します。

・講演会、2 日前までに ID が送られない場合は、下記にご連絡ください。

・参加費は無料です。事前にオンライン参加時の通信環境をご確認ください。但し参加に伴うデータ通信料などは各自ご負担ください。

申し込みは、電話またはメールでお願いします。
1　お名前
2　コモンズ・デポー名
3　参加方法　（①～③）
4　連絡先
（Zoom 参加希望の方は、必ずメールにてお申込みください）

申し込み・問い合わせはコチラまで
生活リハビリクラブ幸（担当：内村）
TEL：044-556-1122
Email：r-saiwai@bz03.plala.or.jp
QR コード：
メールでお申込みの方はこちらから　⇒